

令和5年度 HelloHouseこがも 事業報告

1. 令和5年度の取り組み

○就労（利用定員10名）

・令和3年度より実施している鶴尾地区との交流をさらに深めることができ、地域共同防災活動では、利用者が混乱せず対応できるよう意識づけを継続していくことができた。また、地域バザーでは予想以上に反響があり工賃向上につながっていた。前年度の反省点を活かして今後も地域活動を通して社会参加できるよう努めていく。合わせて、利用者の年齢があがっていく中で、作業内容を見直し、個々に合わせた内容を常に検討できていた。今後も社会参加しながら、本人の意思や意向を汲み取り将来の生活につながるようにしていく。

○生活（利用定員10名）

・医療ケアが必要な利用者や重度の利用者の体調管理を細かく行うことで、少しの変化を見逃さず重症化を防げていた。誤嚥やてんかん発作の対応を行い、幸いに命を救えた事案もあった。常時の緊急対応やチームでの動きを再確認したり、利用者対応への問題点も解決へ導けたりできていた。また、地域の保育所交流を継続していく中で、恒例の行事となり利用者が楽しみにして待つ様子も多く見られ、交流の成果があった。今後は外出活動も取り入れながら、地域で過ごす時間を多く持てればよいと考える。

2. 月別利用比率・職員配置（別紙参照）

○就労 7.5（利用者）：1（職員）

令和5年度 利用者数の平均 9人

基準の職員（生活支援員・職業指導員）数 1.2人 <

配置人数2.5人（常勤換算後の職員数）

目標工賃達成指導員除く

○生活 1.7（利用者）：1（職員）

令和5年度 利用者数の平均 5.7人

基準の職員数 3.3人 < 配置人数 3.8人（常勤換算後の職員数）

看護師 0.2人含む

3. 工賃（就労継続支援B型）

定員	工賃支払い対象延べ人数	工賃支払い総額	平均工賃金額
10人	2,393人	5,421,066	<u>50,195</u>
			時給
令和5年度平均工賃 50,195円			621円

（香川県最低賃金 918円）

令和6年度目標工賃
50,275円

令和5年10月～

法改正があり、令和5年度の報告分より平均工賃の計算方法が変わっている。

4.令和5年度アンケート（利用者・保護者）の満足度

保護者

	満足	どちらでもない	不満
①環境・設備	60%	40%	
②職員の専門性	77%	23%	
③個別支援計画につ	86%	14%	
④社会参加	41%	59%	
⑤十分な説明と同意	73%	18%	9%
⑥事業所の方針等	77%	23%	

- <意見> ・日々の相談に乗ってくれ、いろいろな手立てを考えてくれ感謝している。
- ・細かいところまで気づいてくれるので、助かっている。
 - ・いろんな工夫や支援を考えてくれている。
 - ・親の会はいつまで必要なのか。終活をしていく中で肩の荷を下ろすべきではないかを感じる。
 - ・グループホームへの入所支援をお願いします。

○心のサポートや将来生活するのに身近な相談相手や自立に向けた実践、必要な支援が重要であると感じられている方が多くみられた。また、生活費が必要であると感じる方もいた。

利用者

	満足	どちらでもない	不満
①過ごしやすさ	84%	16%	
②職員との関係	84%	16%	
③個別支援計画につ	72%	28%	
④外出活動	20%	52%	28%
⑤十分な説明と同意	80%	16%	4%
⑥事業所の決まり事	60%	20%	20%
⑦通所について	64%	32%	4%

- <意見> ・作業中、邪魔をされる。返事をしない人がいる。声の大きい人がいる。無駄なストレスです。
- ・こちらから言わなくても職員が気づいてやってほしい。
 - ・嫌なことを言われる。嫌な気持ちになることが多い。
 - ・職員の言うことがわからない時がある。

○心は穏やかである方が大半であるが、生活介護利用者も含め、生活に不安があるといった意見が多かった。また、これからのことを考えているといった意見も多くみられた。

☆アンケート結果及び意見より、改善すべきこと

・外出活動に参加できない方の中には、体調面を考慮して保護者とのずれも多少あるので、活動内容を工夫して体調が良い日で気候が良ければ外出を保護者とも検討していく。また、デイキャンプ等を実施できるよう検討していく。

・作業や活動、苦情・相談、友人関係等に関して、本人が理解できるような十分な説明を行うようにする。

・作業や生活面での困り事に真摯に柔軟に対応し、通所することが苦にならないようサポートしていく。

・年齢を重ねていくことや生活に不安がある方への十分な意思の汲み取りや対応を行う。

★アンケート結果の満足度を高めるため、サービスの質を充実できるように職員と共有し日々のサービスの質を重視していく。

☆令和4年度のアンケートより令和5年度に実施したこと。

○事業所でリラックスして過ごせるよう環境整備係を設け環境に配慮した。→改善

○職員の資質向上のため、事業所活性診断等を取り入れ常時より向上できるような研修を設けた。→改善傾向

○外出活動を多く取り入れ、地域行事等の参加を行った。→不十分

○苦情・相談があった際は、丁寧な説明を心掛けた。→不十分

○個人情報に関して徹底した配慮を行った。→改善

不十分な点は、令和6年度も引き続き改善していく。